

3 第163号 くるめ福祉

久留米市社会福祉協議会

平成28年度事業報告

『「こころ」あふれる支え合いのまちくるめ』の実現のために

1 地域福祉活動、ネットワーク活動の推進

○市内生活圏域を基本に地域活動コーディネーター5名を配置し、校区社会福祉協議会等から地域資源や活動の特色について情報収集を行うとともに、地域課題の共有と解決に向けた支援も行いました。

○平成28年度より、市から新たに「生活支援体制整備事業」を受託し、支え合い推進会議（協議体）（4ページ参照）を設置する校区の支援に取組みました。

○生活支援体制整備事業の全市的周知を図るため、市校区まちづくり連絡協議会、市地区社会福祉協議会連合会をはじめとする各種団体に対して説明を行いました。

○各サロンの実状の把握に努め、地域の特性に合わせた支援を行いました。



支え合い推進会議の様子（山川）

2 生活支援・相談機能の充実

○新任のふれあい福祉相談員を対象とした研修会を開催してスキルアップを図りました。

○市生活支援課及び地域包括支援センター職員との連携強化に努め、効果的に事業を展開しました。

3 成年後見事業の推進

○成年後見制度の普及・啓発や成年後見制度の利用促進を図りました。

○市社会福祉協議会が後見人となる法人後見事業を行い、地域における権利擁護体制の整備を進めました。

4 ボランティア活動の活性化

○市ボランティア連絡協議会に対し、会の運営や自主事業・研修等の企画及び実施に対する支援を行い、ボランティア連絡協議会の活性化と自立化を促しました。

○「ボランティアガイドブック」をボランティア連絡協議会との協働により全面改訂しました。

○熊本市と益城町の災害ボランティアセンターに派遣した職員の実務経験を踏まえ

5 福祉教育の推進

○学校・企業などを対象に、障害をもつ当事者やボランティア活動者をゲストティーチャーとして派遣し、啓発活動の拡大に取組みました。



上津小福祉教育

て、9月の市総合防災訓練において、災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

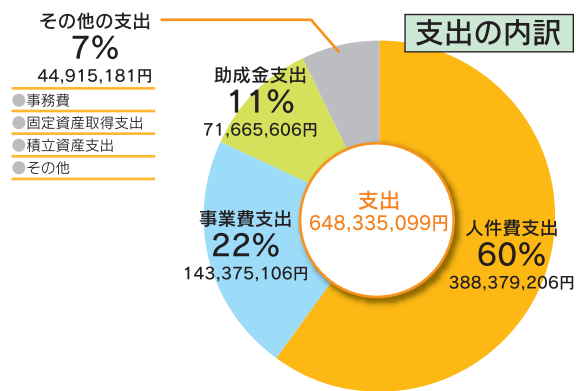
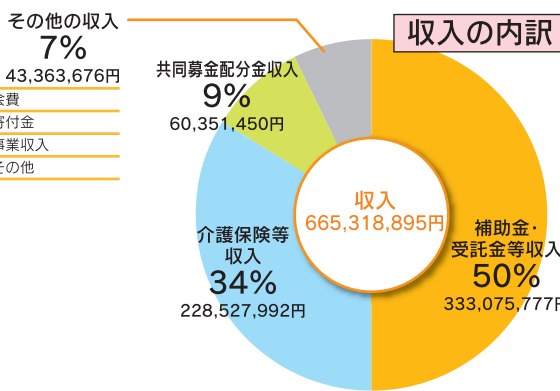
6 広報啓発機能の強化

○市社会福祉協議会の運営方針や事業内容等について分かりやすく紹介した「久留米市社協ガイド」を新たに作成し、市社協への理解を深める取組みを進めました。

7 指定管理受託施設の運営

○市総合福祉会館、田主丸老人福祉センター及び三潯総合福祉センターの3施設について、福祉活動の拠点施設として、利用者のニーズ等を踏まえながら安全で円滑な運営に努めました。

平成28年度 決算報告



(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	253,231,923円	流動負債	54,295,047円
固定資産	772,449,660円	固定負債	127,539,075円
基本財産	208,100,801円	負債の部 合計	181,834,122円
その他の固定資産	564,348,859円	(純資産の部)	
		基金	255,826,569円
		国庫補助金等特別積立金	96,232,531円
		その他の積立金	183,611,495円
		次期繰越活動収支差額	308,176,866円
		純資産の部 合計	843,847,461円
資産の部 合計	1,025,681,583円	負債・純資産 合計	1,025,681,583円

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

※詳しい事業報告や決算の内容は、市社会福祉協議会事務局及びホームページで閲覧できます。
ホームページ「久留米市社会福祉協議会」<http://www.heartful-volunteer.net>